

# Photoshopクリエイター能力認定試験

## エキスパート

Sample パターン  
(Ver.CS、CS2、CS3、CS4、CS5 対応版)

### 第 2 部 実践問題 問題冊子

【制限時間 90 分】

#### 注意事項

- “PSエキスパート××××”フォルダ内に“第2部実践問題”フォルダが収録されていることを確認してください。
- 指示があるまで問題冊子およびファイルを開いてはいけません。
- 試験終了後、問題冊子を回収します。

受験会場	
受験番号	
氏 名	

試験問題に記載されている会社名又は製品名は、それぞれ各社の商標又は登録商標です。  
なお、試験問題では、® 及び ™ を明記していません。

サードパーティ  
ソフトウェア活用能力認定委員会

### ＜問題文の表記方法＞

本試験内で提示される問題文の表記方法は、原則下記に従います。ただし、出題の内容や解答に関連する部分で、一部原則よりはずれることがあります。

- 1 フォントの表記：フォントの使用指示が OS によって異なる場合は、『MS ゴシック（Mac：Osaka）』のように Windows 対応表記を先に記載し、次に（ ）を付けて Macintosh 対応表記を記載します。
- 2 ファイル名は“ ”でくくり、“問題.psd”のように表記します。
- 3 フォルダ名、ファイル名の大文字、小文字はシステムの設定により表示が異なる場合がありますので、厳密に区別をしません。ご使用のシステムの表示に従ってください。
- 4 Photoshop CS3 以前のバージョンにおいては、「パネル」は、「パレット」と表現しますが、本試験内では、「パネル」という表記で統一しています。
- 5 Photoshop CS4 以前のバージョンにおいては、「フィルター」は、「フィルタ」と表現しますが、本試験内では、「フィルター」という表記で統一しています。

### ＜注意事項＞

- ・ “第2部実践問題”フォルダ内の“参考画像”フォルダには、完成例および参考画像が収録されています。問題文の指示に従って参照してください。
- ・ 問題文や設問において指定されたフォントがシステムに搭載されていない場合は、試験監督者より指示された代替フォントを使用してください。
- ・ 問題文中に設定値の指定が無い場合は、完成例を参考に適切な設定値を適用してください。
- ・ 特に指示がなくとも適宜上書き保存し、データが失われないようにしてください。

## 素材データについて

“第2部実践問題”フォルダ内には、問題中で使用する6つの素材データが収録されています。

“ 雑草 .psd”



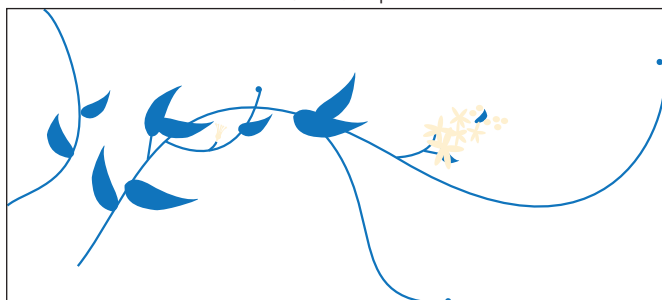
“ ライオン .psd”



“ サイ .psd”



“ 草模様 .eps”



“ 絵の具 .psd”



“ キリン .psd”

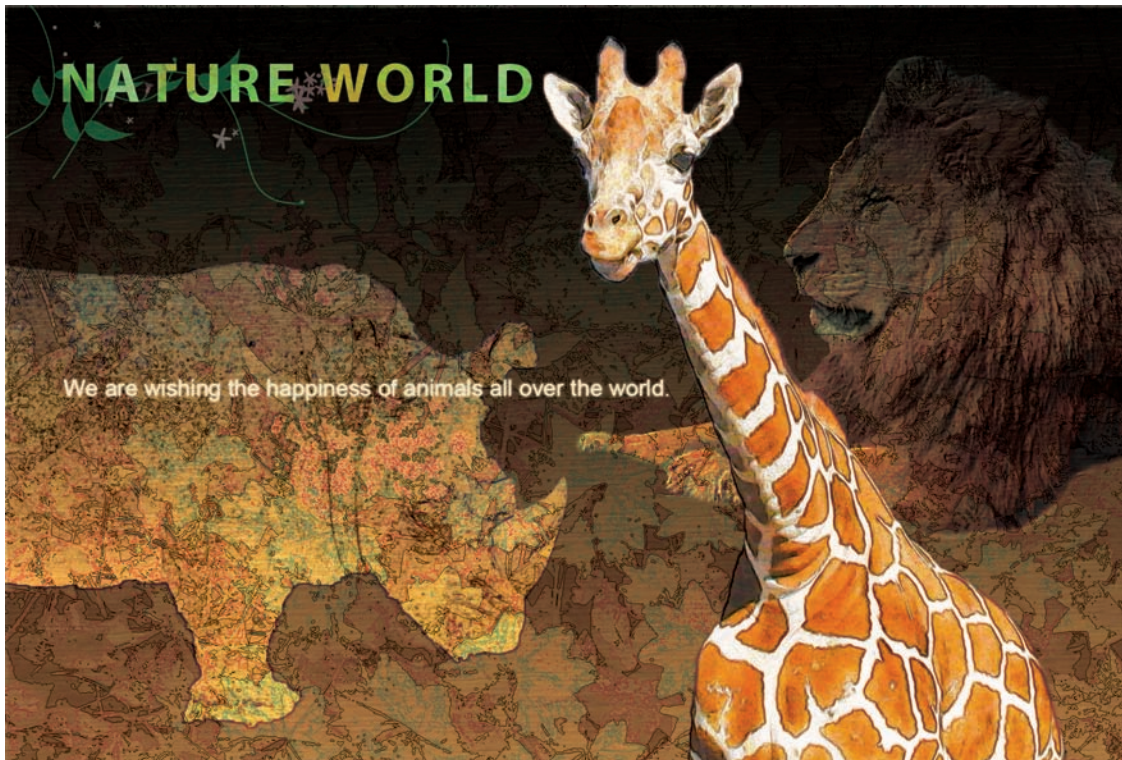


## テーマ設定

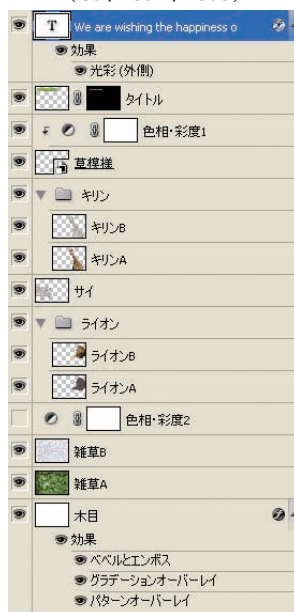
動物園と植物園が融合したレジャー施設「ネイチャーワールド」では、入場者全員にポストカードを配付することにした。＜図1：完成例＞および参考画像“フォルダ内に収録されている参考画像ファイル、“完成例.jpg”を参考に、作業指示書に従ってポストカードを制作しなさい。

制作した作品は“エキスパート××××.psd”（××××は受験番号）という名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存しなさい。

＜図1：完成例＞



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS、CS2、CS3)



＜図2：完成時のレイヤー構成例＞  
(CS4、CS5)



※ CSにおいては、レイヤーサムネールが上記レイヤー構成例とは異なります。

## 作業指示書

### 手順1 ドキュメントの作成

1. 以下の印刷条件に合わせて新規ドキュメントを作成し、“エキスパート××××.psd”（××××は受験番号）の名称で、“第2部実践問題”フォルダ内に保存する。なお、ドキュメントの解像度（pixel/inch）は、スクリーン線数の2倍に設定するものとする。

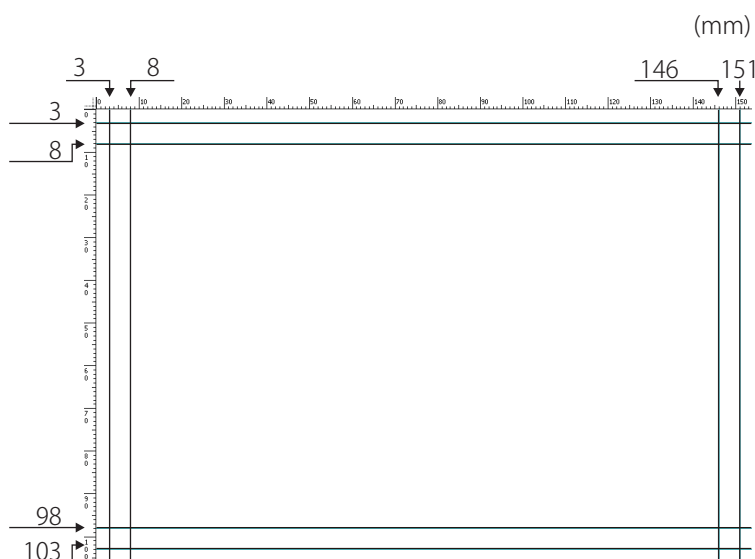
仕上がりサイズ：幅 148mm、高さ 100mm（上下左右に 3mm の裁ち落としをつけること）

オフセット印刷：4C

スクリーン線数：150 線

2. 環境設定で定規の単位を「mm」に設定し、＜図2：ガイド設定＞を参考にガイドを作成する。（作成したガイドは削除せずに作品を提出すること）

＜図2：ガイド設定＞



### 手順2 木目の作成【レイヤー「木目」】

1. レイヤーパネルの「背景」をレイヤーに変更し、レイヤー名を「木目」とする。
2. ＜図3：手順2完了時の状態＞および参考画像“図3.jpg”を参考に、レイヤー「木目」に、レイヤースタイル「パターンオーバーレイ」、「グラデーションオーバーレイ」、「ベベルとエンボス」を以下の設定で適用する。

#### パターンオーバーレイ

パターン：パターンのライブラリ[パターン]に収録されている[木(64 × 64 ピクセル、RGB モード)]を適用。

（パターン適用後は、名称が[木(64 × 64 ピクセル、CMYK モード)]に変更される）

比率：300 %

#### グラデーションオーバーレイ

描画モード：乗算

不透明度：100 %

グラデーション：黒、白

角度：-90 °

#### ベベルとエンボス - テクスチャ

パターン：パターンのライブラリ[パターン]に収録されている[木(64 × 64 ピクセル、RGB モード)]を適用。

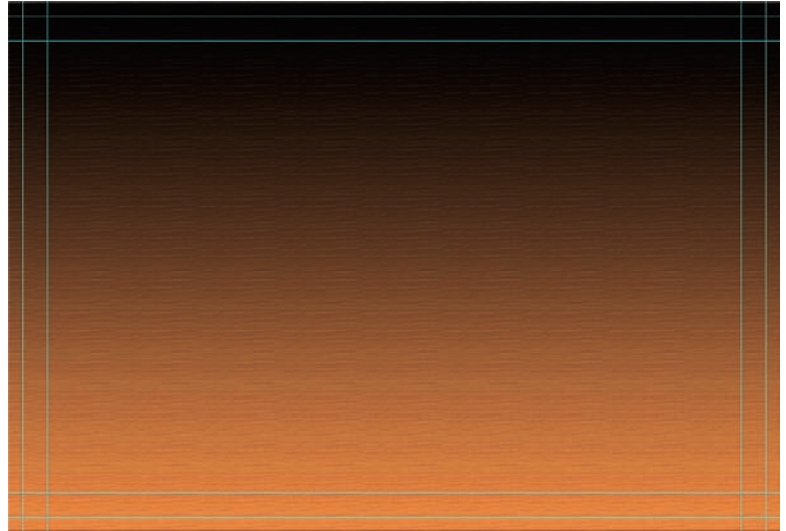
（パターン適用後は、名称が[木(64 × 64 ピクセル、グレースケールモード)]に変更される）

比率：300 %

指示以外の設定については、＜図3：手順2完了時の状態＞および参考画像“図3.jpg”と著しく異なることのないよう適当な設定を行うこと。



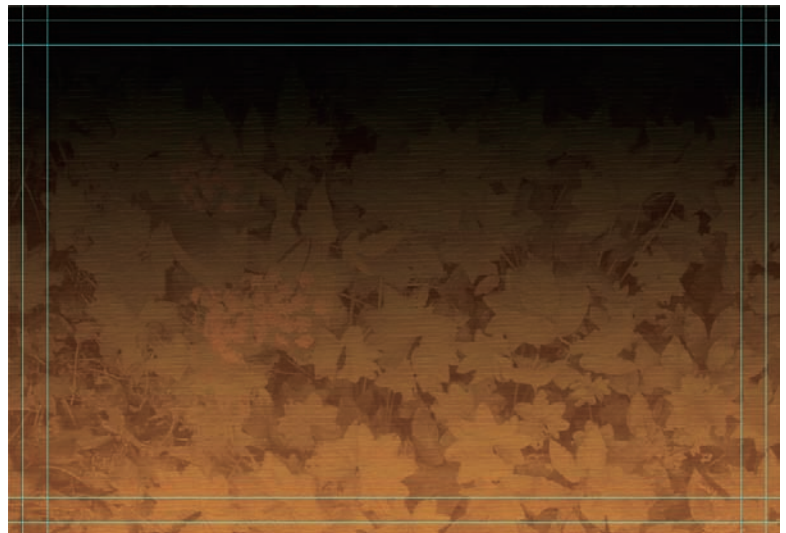
&lt;図3：手順2完了時の状態&gt;



### 手順3 雑草の画像の配置と編集【レイヤー「雑草 A」】

1. 新規レイヤー上に“雑草 .psd”の画像を配置し、レイヤー名を「雑草 A」に変更する。
2. 以下の条件に従って、レイヤー「雑草 A」の設定内容を編集する。
  - ① レイヤーの不透明度を「40%」に設定する。
  - ② レイヤーの描画モードを「乗算」に変更する。

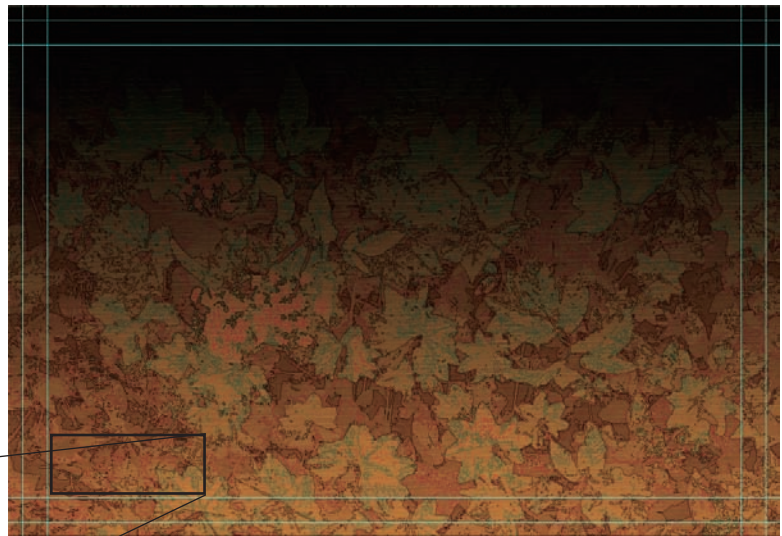
&lt;図4：手順3完了時の状態&gt;



#### 手順4 雑草の画像の配置と編集【レイヤー「雑草 B」】

1. レイヤー「雑草 A」を複製し、複製したレイヤーのレイヤー名を「雑草 B」に変更する。
2. レイヤー「雑草 B」の不透明度を「100%」に設定する。
3. <図5：手順4完了時の状態>および参考画像“図5.jpg”を参考に、レイヤー「雑草 B」に適切なフィルターを適用する。

<図5：手順4完了時の状態>



<図6：図5の拡大図>



#### 手順5 ライオンの画像の配置と編集【レイヤーグループ(CS:レイヤーセット)「ライオン」】

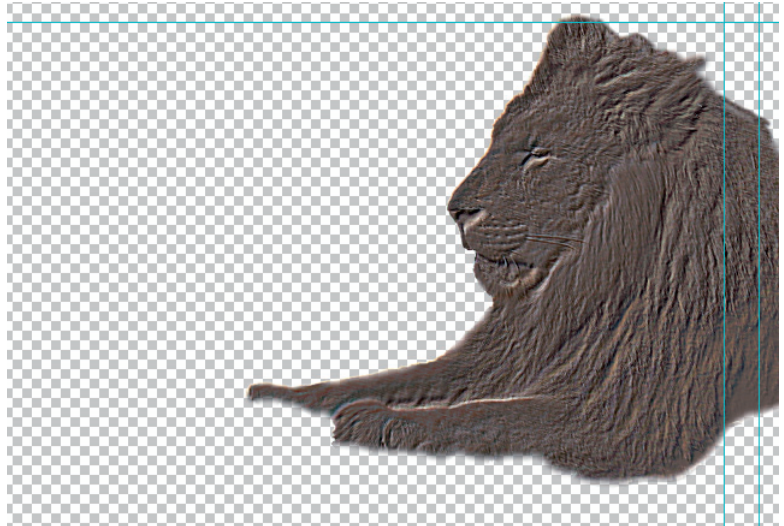
1. <図7：“ライオン.psd”の配置>を参考に、新規レイヤー上に“ライオン.psd”の画像を配置し、レイヤー名を「ライオン A」に変更する。
2. レイヤー「ライオン A」を複製し、複製したレイヤーのレイヤー名を「ライオン B」に変更する。
3. レイヤーグループ (CS：レイヤーセット)「ライオン」を作成し、レイヤー「ライオン A」と「ライオン B」をレイヤーグループ「ライオン」に追加する。この時、レイヤーパネル上で、レイヤー「ライオン B」をレイヤー「ライオン A」の上に配置する。

<図7：“ライオン.psd”の配置>



4. <図8:レイヤー「ライオンA」にフィルターを適用>および参考画像“図8.jpg”を参考に、レイヤー「ライオンA」に適切なフィルターを適用する。なお、<図8:レイヤー「ライオンA」にフィルターを適用>および参考画像“図8.jpg”は、フィルターの効果がわかりやすいように、他のレイヤーを非表示にした状態である。

&lt;図8:レイヤー「ライオンA」にフィルターを適用&gt;



5. レイヤー「ライオンA」、「ライオンB」のレイヤーの描画モードを「オーバーレイ」に設定する。

&lt;図9:手順5完了時の状態&gt;



## 手順6 サイの画像の配置と編集【レイヤー「サイ」】

1. “サイ.psd”を開き、チャンネル「サイトリミング」を選択範囲として利用し、サイの部分のみを選択する。

&lt;図10:“サイ.psd”&gt;





2. 選択したサイをコピーし、ファイル“エキスパート××××.psd”にペーストする。＜図 11：サイの配置＞を参考に、サイを配置する。
3. サイを配置したレイヤーのレイヤー名を「サイ」に変更する。

＜図 11：サイの配置＞



4. ＜図 12：レイヤー「サイ」にフィルターを適用＞および参考画像“図 12.jpg”を参考に、レイヤー「サイ」に適切なフィルターを適用する。

＜図 12：レイヤー「サイ」にフィルターを適用＞

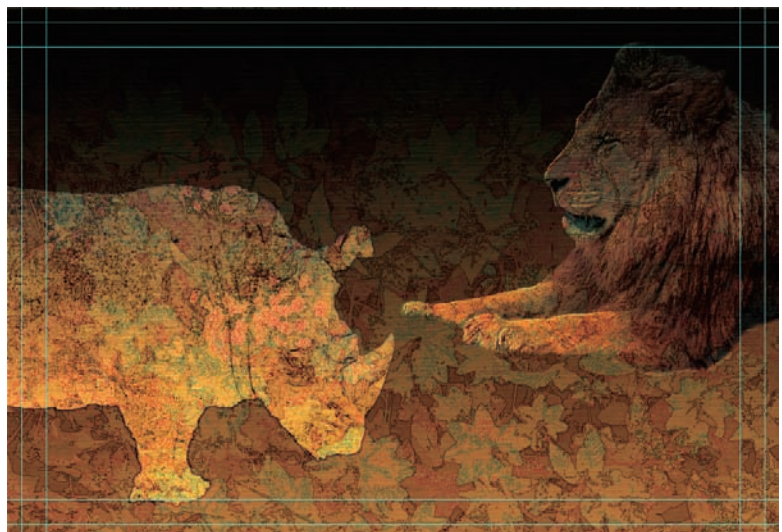


＜図 13：図 12 の拡大図＞



5. レイヤー「サイ」のレイヤーの描画モードを「オーバーレイ」に設定する。

＜図 14：手順 6 完了時の状態＞





## 手順7 キリンの配置と編集【レイヤーグループ (CS: レイヤーセット) 「キリン」】

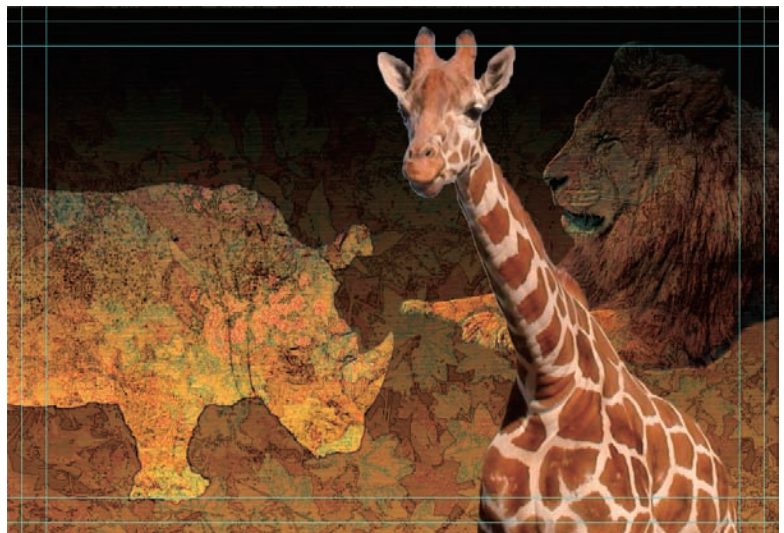
1. <図 15: “キリン.psd” の配置>を参考に、新規レイヤー上に “キリン.psd” の画像を配置し、レイヤー名を「キリン A」に変更する。

<図 15: “キリン.psd” の配置>



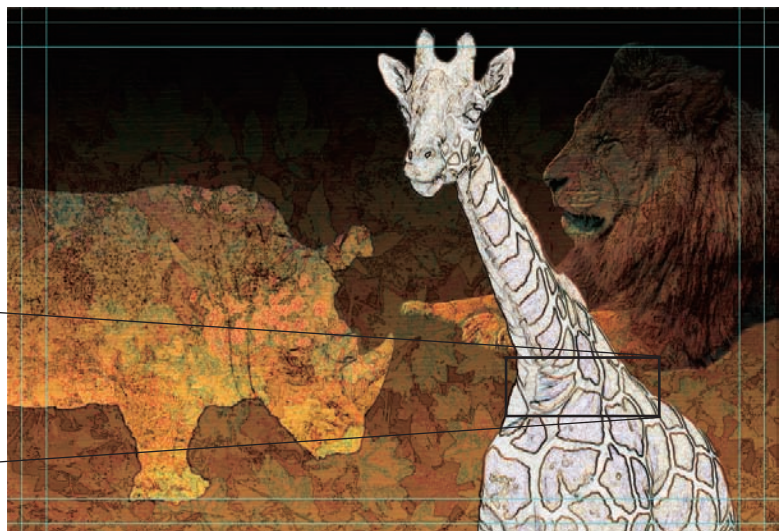
2. <図 16: キリンの背景を削除>を参考に、キリンの周囲を切り抜き、位置を調整する。
3. レイヤー「キリン A」を複製し、複製したレイヤーのレイヤー名を「キリン B」に変更する。
4. レイヤーグループ (CS: レイヤーセット) 「キリン」を作成し、レイヤー「キリン A」と「キリン B」をレイヤーグループ「キリン」に追加する。この時、レイヤーパネル上で、レイヤー「キリン B」をレイヤー「キリン A」の上に配置する。

<図 16: キリンの背景を削除>

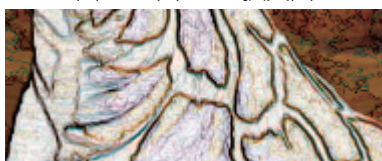


5. <図 17: レイヤー「キリン B」にフィルターを適用>および参考画像“図 17.jpg”を参考に、レイヤー「キリン B」に適切なフィルターを適用する。

<図 17: レイヤー「キリン B」にフィルターを適用>

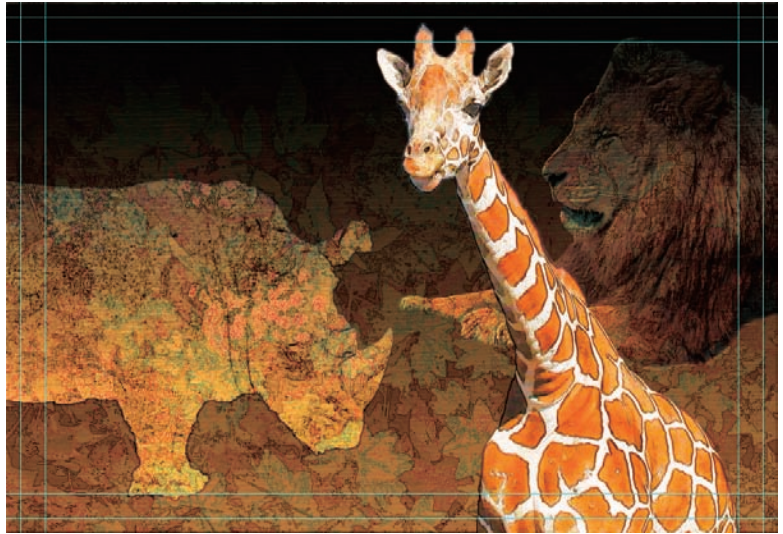


<図 18: 図 17 の拡大図>



- レイヤー「キリンB」のレイヤーの描画モードを「オーバーレイ」に設定する。

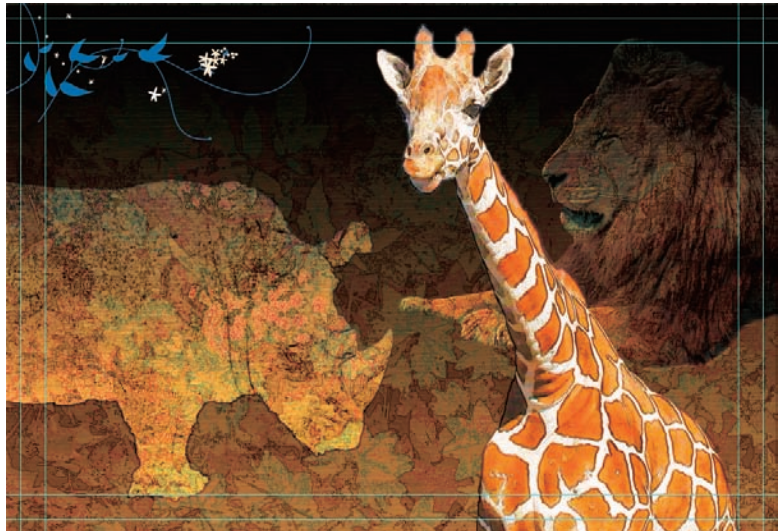
&lt;図 19：手順7完了時の状態&gt;



### 手順8 草模様の配置【レイヤー「草模様」】

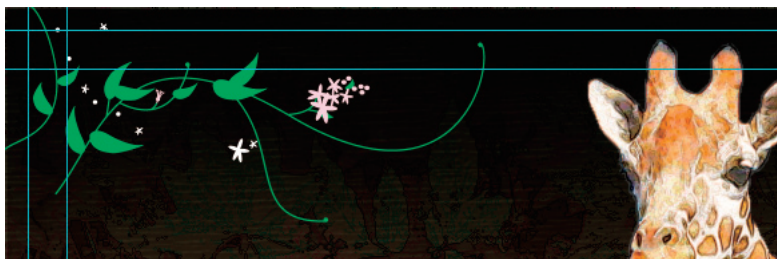
- 新規レイヤー上に「草模様.eps」の画像を配置し、レイヤー名を「草模様」に変更する。
- <図 20：「草模様.eps」の配置>および参考画像「図 20.jpg」を参考に、配置した画像を縦横比を固定した状態で35%に縮小し、ドキュメントの左上に配置する。

&lt;図 20：「草模様.eps」の配置&gt;



- <図 21：草模様のカラーを編集>および参考画像「図 21.jpg」を参考に、配置した画像の青色の部分が緑色になるようにカラーを編集する。

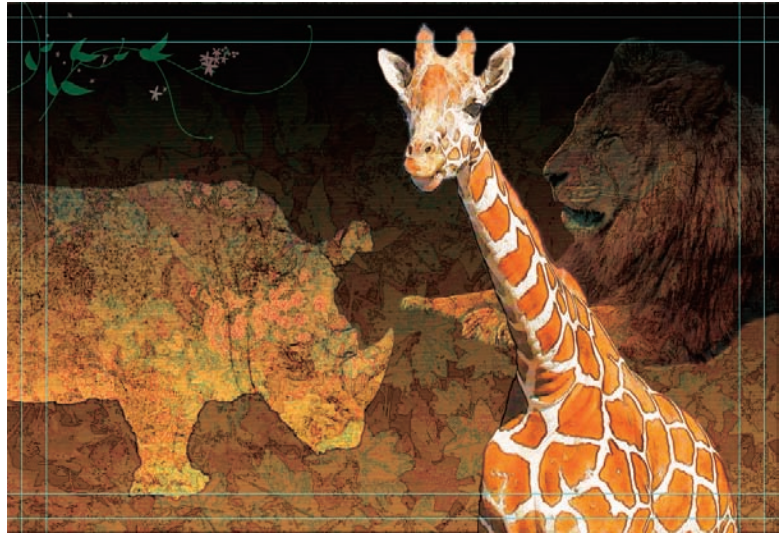
&lt;図 21：草模様のカラーを編集&gt;





- レイヤー「草模様」のレイヤーの不透明度を「50%」に設定する。

&lt;図 22：手順 8 完了時の状態&gt;



## 手順9 タイトルの作成【レイヤー「タイトル」】

- <図 23：“絵の具 .psd”の配置>を参考に、新規レイヤー上に“絵の具 .psd”の画像を配置し、レイヤー名を「タイトル」に変更する。

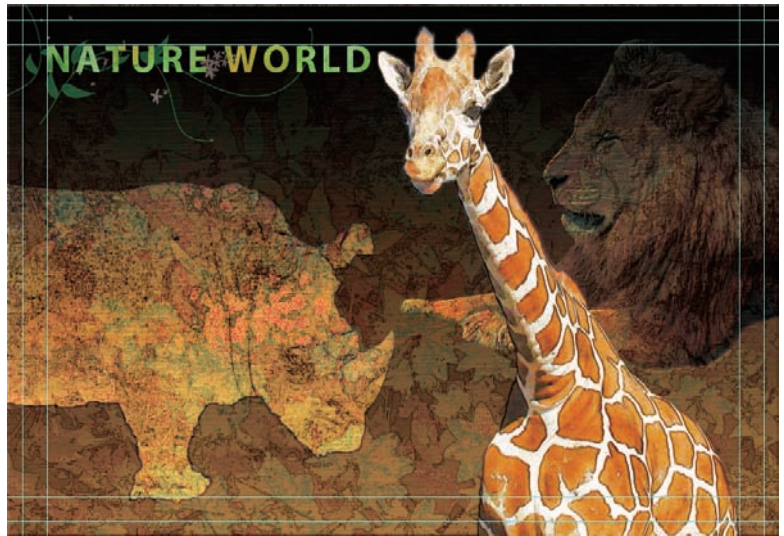
&lt;図 23：“絵の具 .psd”の配置&gt;





2. <図 24：手順 9 完了時の状態>および参考画像“図 24.jpg”を参考に、配置した“絵の具 .psd”の画像を半角文字列「NATURE WORLD」の形状でマスクする。半角文字列「NATURE WORLD」は、以下の通り設定し、文字列の位置を調整する。

&lt;図 24：手順 9 完了時の状態&gt;



フォントファミリー：Myriad Pro フォントスタイル：Bold

※システムに同一のフォントがインストールされていない場合は、試験監督者の指示に従い、代替フォントを使用すること。

サイズ：22pt

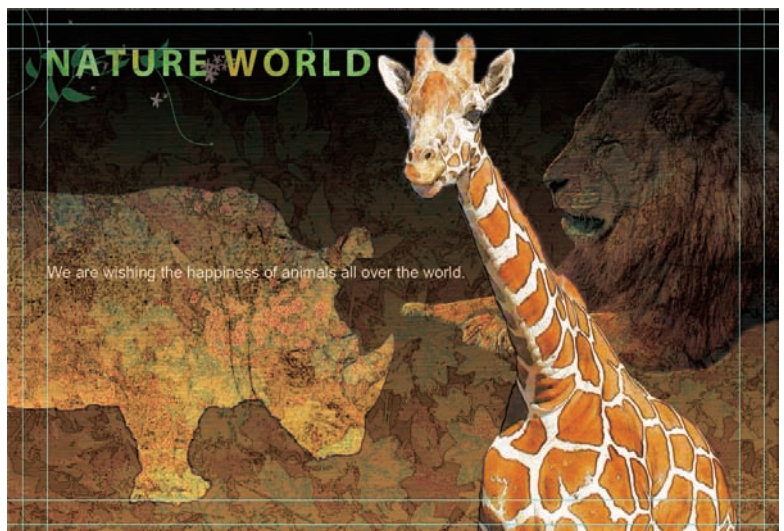
トラッキング：100（文字列全体に適用）

その他の設定については、<図 24：手順 9 完了時の状態>および参考画像“図 24.jpg”と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

## 手順 10 コピーの作成【テキストレイヤー「We are wishing・・・over the world.」】

1. 半角文字列「We are wishing the happiness of animals all over the world.」を入力して以下の通り設定し、<図 25：半角文字列「We are・・・」の入力>を参考に、文字列の位置を調整する。

&lt;図 25：半角文字列「We are・・・」の入力&gt;



フォントファミリー：Arial フォントスタイル：Regular

※システムに同一のフォントがインストールされていない場合は、試験監督者の指示に従い、代替フォントを使用すること。

サイズ：9pt

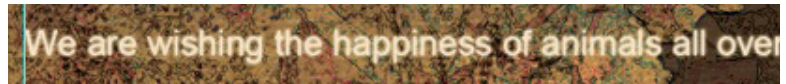
テキストカラー：C:0% M:10% Y:20% K:0%

トラッキング：0（文字列全体に適用）

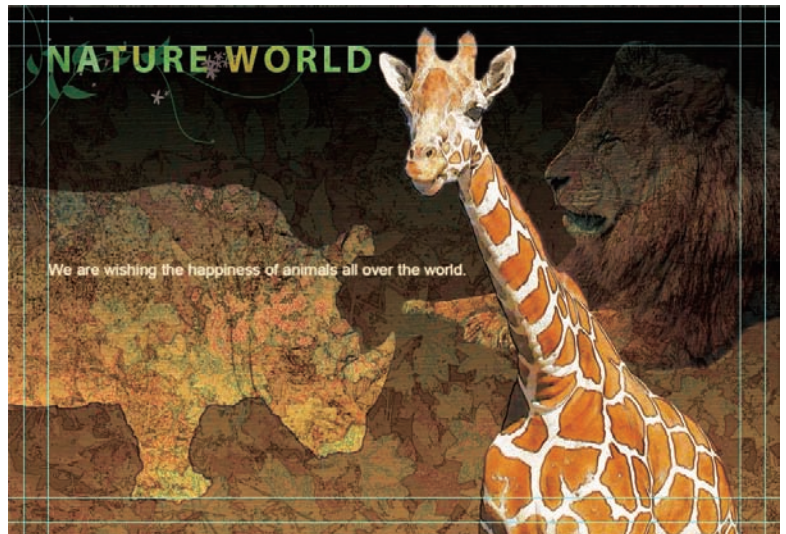
その他の設定については、完成例と著しく異なることのないよう、適当な設定を行う。

2. <図 26：文字列に光彩を適用>および参考画像“図 26.jpg”を参考に、を参考に、テキストレイヤー「We are・・・」上の文字列の周囲に光彩が表示されるように編集する。

&lt;図 26：文字列に光彩を適用&gt;



&lt;図 27：手順 10 完了時の状態&gt;



## 手順 11 レイヤーカンパの作成とファイルの保存

1. レイヤーカンパに、手順 1～10 で作成した作品を「A 案」として登録する。
2. 制作したドキュメントを以下の設定で保存する。

ファイル名 (Mac：名前)：エキスパート××××.psd (××××は受験番号)

ファイル形式 (Mac：フォーマット)：Photoshop (\* .PSD, \* .PDD)

保存場所：“PS エキスパート××××”フォルダ内の“第2部実践問題”フォルダ内

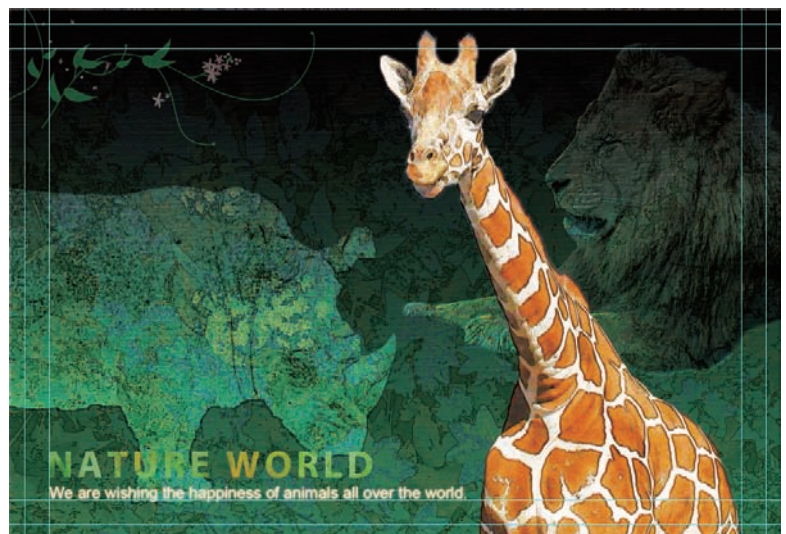
## 手順 12 アレンジの制作【B 案の作成】

作業指示書に基づいて制作したポストカードをクライアントに提案したところ、次の通りにアレンジしたバージョンの作成依頼があった。次の通りにアレンジしたバージョンを制作し、レイヤーカンパに「B 案」として登録しなさい。レイヤーカンパに登録した「A 案」は編集せずに保持すること。

### B案の作成依頼

- ① “<図 28:B 案の完成例>”を参考に、タイトル「NATURE WORLD」とコピー「We are wishing・・・」の文字列を左下に移動してください。
- ② 背景の模様を青緑系のカラーに変更してください。

&lt;図 28：B 案の完成例&gt;



## 解答データの提出

手順 12 までの作業が完了したら、ファイルを上書き保存し、試験監督者の指示に従って “PS エキスパート××××” (××××は受験番号) フォルダを提出する。

試験問題内容に関して、他人にこれを伝え、漏洩することを禁じます。

© CERTIFY Inc.2010 禁無断転載複写